

平成23年度事業計画書

自：平成23年 4月 1日
至：平成24年 3月31日

平成23年度 事業計画書

はじめに

【今後の10年に向けて】

平成3年4月にフィランソロピー推進事業を開始して今年度で20年目を迎えます。企業フィランソロピーを核に企業の社会責任、従業員などの社会参加・社会貢献推進事業を展開してきました。平成15年のCSR元年以来、企業の社会責任への関心と自覚は少しずつ高まってきましたが、平成22年11月にはそれをより有効に推進するためのISO26000が発行され、社会責任を果たす主体は、企業だけでなく、すべての組織へと拡充されてきました。これは、持続可能な社会実現は、社会全体で取り組まなければ不可能であることを示すものでしょう。新公益法人制度スタートから2年余、「新しい公共」の実現にとって、個人の市民意識の醸成が重要な要素になっています。なかんずく、寄付文化の醸成を具体的な形として示すことがその実現にとって大きな役割を果たすと考えます。このたびの東北関東大震災で示されている助けあいの心の発露としての全国から寄せられている寄付行為は、多大な犠牲を無にしないものとして、日本人の生活に根付かせてまいりたいと考えます。

昨今、企業フィランソロピーにおいては、従業員等の市民意識の喚起が視野に入ってきています。これを社会的な総意として形成できるよう、「民主主義の健全育成」を掲げる当協会は、今後10年の目標として、寄付活動を核とした個人の市民性育成を掲げ尽力してまいります。

【基本方針】

個人の寄付文化の醸成を核に、企業CSR・個人の寄付推進事業を展開する。

- 1) 企業のCSR・社会貢献担当者の研修・啓発をさらに進め、企業CSR推進のための支援事業を展開
- 2) 寄付文化の醸成を図る事業の推進
 - ・従業員はじめステークホルダーの寄付・募金活動のサポート
 - ・青少年の寄付・募金活動を推進するための事業展開
- 3) 寄付の受け皿となるNPOなどの基盤整備のための人材育成事業

【平成23年度の事業計画】

I. 社会貢献啓発事業（公益目的事業1）

市民、団体、企業のフィランソロピー（社会貢献）活動を啓発、啓蒙するとともにボランティア活動、公益活動への関心を深め、活動への手がかりを提供し、より良い社会の醸成に寄与する事業

1. 広報・出版事業（機関誌の頒布・書籍の出版事業）

- ・月刊「フィランソロピー」の発行

機関誌として年10回発行

当協会の活動報告とともに社会の課題を抽出し、それを特集として企画・編集する。

企業の社会貢献活動はじめ CSR 関連情報、NPO・NGO の活動や提言を掲載する。

2. インターネットを利用した情報提供事業

- ・メールマガジン（毎月1日・15日配信 配信件数約9000件）

- ・ホームページ（随時更新）

当協会の活動をはじめ、社会貢献・CSR情報の提供、NPO・NGO 団体の活動情報を配信する。

今後はメルマガの内容、配信体制をより強化し、読者のニーズに応じていく。また、ホームページの内容の充実を図り、月刊『フィランソロピー』と連動した記事を積極的に掲載するなど、当協会の事業を有機的に連動させ、より有効な情報の発信基地とする。

- ・SNS「フィーモ」

会員企業の担当者勉強会（Stone Soup Club）の情報・意見交換の場とする

II. 社会貢献促進事業（公益目的事業2）

主に企業、団体の社会貢献担当者、NPO・NGO 職員を対象とし、社会貢献・社会的責任に対する考え方、組織運営等に対する能力開発、更には具体的な活動を通し、企業はじめ、さまざまな組織における社会貢献の推進を支援する事業

1. 研修事業

① 月例セミナー

毎月1回開催（原則として年間11回開催）

企業・団体などの社会貢献担当者等を対象として、社会貢献・企業の社会的責任などに関するテーマで講演、グループディスカッション、見学会等を定例セミナーとして開催し、参加者のスキルアップを目指す。

セミナー参加者の様々なニーズに応えるよう、更に内容の充実を図る。

【幹事企業】

3社から企画・運営に関し、協力をしていただく

（平成23年度幹事企業）

パナソニック株式会社

花王株式会社

キューピー株式会社

- ② 会員企業向けセミナー (Stone Soup Club)
毎月1回開催 (原則として年間11回開催)
 - ・会員企業 CSR 担当者同士が各企業の事例紹介を通じ、異業種での協働企画事業を開発することをめざす。
 - ・CSR 担当者間のネットワークづくりに寄与する。

- ③ CSR セミナー開催 (地方版)
 - 22年度は大阪で2回開催した。その折、セミナー開催の要望が多く
 - 23年度は、大阪2回 他地方2回開催を予定。
 - (福岡：㈱福岡リアルティ主催のCSRセミナー (5回シリーズ) は決定)

- ④ フィランソロピー始動20年記念シンポジウム
 - 平成3年4月1日企業フィランソロピーを推進するために企業市民室を設置してから本年度で20年目を迎える。
 - 記念シンポジウムを開催し、これまでの20年を振り返り、今後の10年のフィランソロピーの方向性を考える場とする。

2. 社会参加支援事業 (コンサルテーション事業)

企業の社会貢献・社会責任活動等に関するコンサルテーション
企業の社会貢献事業の企画提案と運営への協力

- 株式会社日本製紙グループ本社
- 日本電気株式会社
- 株式会社NTTデータ
- 株式会社トンボ鉛筆
- 株式会社三井住友銀行
- 株式会社福岡リアルティ

3. フィランソロピーバンク事業 (個人の寄付文化醸成事業)

団体・企業の従業員、顧客などの寄付と団体・企業の協働寄付システム
寄付先 NPO 選定に関する調査、寄付金配賦業務、寄付後の NPO 活動のフォローアップなどを行う。

個人の寄付文化の醸成を図るために、企業フィランソロピーの一つの形として、従業員はじめステークホルダーの寄付啓発と寄付機会の提供とする。

4. ペニーハーベスト事業 (資料5参照)

- ① キックオフセミナー (平成23年5月28日 (土) 開催予定)
 - Common Cents の代表 Teddy Gross 氏を招へいし、講演
(国際交流基金日米センター助成事業)
- ② 日本版ペニーハーベストプログラムの制作

- ③参加校獲得のため、学校訪問活動（パイロットプログラム採用に向けて）
パイロット事業実施（目標2校）

5. 顕彰事業（まちかどのフィランソロピスト賞・企業フィランソロピー大賞）

- ・ まちかどのフィランソロピスト賞（第14回）
個人またはグループの社会貢献（寄付）を顕彰し、日本に寄付の文化が育つことを支援する。（個人の寄付文化の醸成）
- ・ 企業フィランソロピー大賞（第9回）
本業を活かした社会貢献事業に特化し顕彰することで企業のCSR経営の普及・啓発につなげる。

6. 助成事業（フィランソロピー社会基盤整備事業）

（アメリカン・エクスプレス財団）

NPOリーダーのためのリーダーシップ育成プログラム（第4回）

- ・ NPO・NGOの若手リーダーを対象とし、リーダーシップ能力やビジネス・スキルを向上させるためのプログラムを提供する。
- ・ 研修を通じてNPO・行政機関などの職員間のネットワークを構築し、全国の志高い人材の創発につなげ、NPOセクター自身の育成をめざす。

7. 助成事業（フィランソロピー社会基盤整備事業）

（独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金）

- ・ 青少年フィランソロピストの調査研究及び啓発事業
- ・ 青少年の寄付等の取り組み事例、それを支援する企業の取り組み事例などを訪問ヒアリング調査、活動報告会の開催、顕彰

Ⅲ. 共生社会創造事業（公益目的事業3）

より豊かで温かい社会を形成するために、誰も排除されることなく、社会の一員として全ての人が社会参加できる機会を提供し、精神的、経済的に自立した生活の実現を支援する事業

1. IT活用事業（声の花束・アニモショップ事業）

- ・ 声の花束（IT活用による音訳サービス）
視覚障がい者や高齢者など活字情報弱者のために単行本などの音声情報をインターネットで配信する。
- ・ アニモショップ
障がい者の自主製品をインターネット上のアニモショップで紹介し障がい者の社会的認知の向上と経済的自立支援を行う。

2. アートエイド名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業
印刷作業など実務は 新宿区勤労者・仕事支援センターに委託し、障がい者
の就労機会づくりに貢献。

3. 受託事業（財団法人こども未来財団）

子育て支援・ワークライフバランスに関する企業と NPO・行政間の協働事例
などを共有し、地域における子育て環境の整備や企業におけるワークライフ
バランス推進に資するシンポジウムを開催する。（東京・大阪で開催）

IV. 会員の推移

会員の推移は以下の通りです。

経済環境は厳しい状況にあるものの、「新しい公共」が謳われる中、企業として社会全体の健全な発展に寄与することの必要性、重要性の認識は高まりつつある。当協会が目指す理念を積極的にアピールし、企業フィランソロピーへのきめ細かな支援を通し、会員数の増加に努める。

法人会員数の推移

(法人)

	平18年度末	平19年度末	平20年度末	平21年度末	平22年度末	平23年3月
正会員	48	51	47	47	49	43
賛助会員(法人)	56	59	56	58	53	60
計	104	110	103	105	102	103